



2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年8月4日

上場会社名 株式会社 テクノメディカ
 コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 實吉 政知

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 津川 和人

TEL 045-948-1961

四半期報告書提出予定日 2021年8月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	2,014	19.9	246	207.6	249	196.8	171	189.8
2021年3月期第1四半期	1,679	23.6	80	66.5	84	64.8	59	74.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	20.07	
2021年3月期第1四半期	6.96	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	16,681	14,696	88.1
2021年3月期	17,554	14,960	85.2

(参考)自己資本 2022年3月期第1四半期 14,696百万円 2021年3月期 14,960百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		51.00	51.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		0.00		51.00	51.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,800	2.7	400	1.2	400	3.0	300	6.5	35.32
通期	9,500	5.1	1,300	19.1	1,300	20.2	1,000	13.3	117.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	8,760,000 株	2021年3月期	8,760,000 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	241,051 株	2021年3月期	240,451 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	8,519,315 株	2021年3月期1Q	8,479,200 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、大都市圏を中心に緊急事態宣言が再び発出されるなど、新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)の収束に関する見通しが立たない中で、一部の指標は上向きつつあるものの、総じて景気の力強い回復は見込めない状態のまま推移しました。

医療業界においては、新型コロナへの対処を通じて医療体制をめぐる諸問題が浮き彫りになる中、喫緊の課題である医療体制の維持と、非常時にも対応できる合理的な医療提供の構築に向けて、業界全体が大きな変化への対応を迫られております。

このような経営環境の中で当社は、新型コロナへの対応を図りながら、医療施設の安定的な運用に寄与する採血管準備装置および関連システム、検体検査装置導入の提案を続けるとともに、これらに用いられる消耗品の安定供給に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,014,165千円(前年同期比19.9%増加)となりました。主力の採血管準備装置および関連システムの販売が復調し、消耗品等の販売も着実に増加したことにより、前年同期を上回る結果となりました。なお、総売上高に対する海外売上高の占める割合は、前年同期比0.4ポイント増加し13.9%となりました。

利益面に関しては、売上高の増加に伴い売上総利益が949,258千円(前年同期比24.2%増加)となりました。販売費及び一般管理費は、前年同期比で微増にとどまる703,134千円(前年同期比2.7%増加)となり、営業利益は246,123千円(前年同期比207.6%増加)、経常利益は249,885千円(前年同期比196.8%増加)、四半期純利益は171,011千円(前年同期比189.8%増加)となりました。

<品目別の販売状況>

・採血管準備装置・システム

当第1四半期累計期間における採血管準備装置・システムの売上高は660,822千円(前年同期比62.5%増加)となりました。

前年同期においては、大型更新案件の減少や新型コロナの影響による販売遅延等により大幅な販売減であったものが、当第1四半期には通常状態に回復し、国内市場の売上高は568,977千円(前年同期比51.0%増加)、海外市場の売上高は91,844千円(前年同期比207.0%増加)となり、いずれも前年同期を上回りました。

・検体検査装置

当第1四半期累計期間における検体検査装置の売上高は106,620千円(前年同期比43.6%減少)となりました。

新型コロナ対応も含めた緊急時の検査に用いられる血液ガス分析装置の需要が一巡したこと等により、国内市場の売上高は62,537千円(前年同期比31.6%減少)、海外市場の売上高は44,082千円(前年同期比54.9%減少)となりました。

・消耗品等

当第1四半期累計期間における消耗品等の売上高は1,246,722千円(前年同期比15.0%増加)となりました。

前年の同時期には、新型コロナの影響で病院内での日常的な検査に用いる当社製品の使用頻度が減少しておりましたが、平時の状態に戻りつつある中で、国内市場における売上高は1,102,584千円(前年同期比12.0%増加)、海外市場における売上高は144,138千円(前年同期比44.3%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産の残高は16,681,187千円となり、前事業年度末比873,254千円減少しました。これは主に、現金及び預金が136,813千円増加、電子記録債権が50,612千円増加した一方、売掛金が830,688千円減少、商品及び製品が219,097千円減少したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末の負債の残高は1,984,522千円となり、前事業年度末比609,768千円減少しました。これは主に、前受金が82,613千円増加した一方、買掛金が454,528千円減少、未払法人税等が282,165千円減少したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末の純資産の残高は14,696,665千円となり、前事業年度末比263,485千円減少しました。これは、配当金の支払が434,496千円、四半期純利益が171,011千円であったことによるものであります。なお、自己資本比率は88.1%となり、前事業年度末比2.9ポイント増加しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月12日付の2021年3月期決算短信で発表した2022年3月期第2四半期累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,138,620	10,275,433
受取手形	87,125	24,341
電子記録債権	426,259	476,871
売掛金	3,092,542	2,261,854
商品及び製品	1,430,258	1,211,160
仕掛品	98,635	100,869
原材料及び貯蔵品	117,134	135,028
前払費用	44,791	68,516
その他	35,197	47,791
流動資産合計	15,470,566	14,601,868
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,184,296	1,190,596
減価償却累計額	△636,104	△645,760
建物 (純額)	548,191	544,836
構築物	2,577	2,577
減価償却累計額	△2,361	△2,368
構築物 (純額)	215	209
機械及び装置	350,019	350,019
減価償却累計額	△202,669	△209,149
機械及び装置 (純額)	147,349	140,869
工具、器具及び備品	272,020	274,145
減価償却累計額	△190,651	△200,655
工具、器具及び備品 (純額)	81,369	73,490
土地	787,326	787,326
有形固定資産合計	1,564,453	1,546,732
無形固定資産		
電話加入権	1,177	1,177
特許権	1,331	1,273
ソフトウェア	21,346	21,118
無形固定資産合計	23,854	23,569
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
長期前払費用	74,449	68,398
繰延税金資産	324,827	344,749
その他	88,780	88,360
投資その他の資産合計	495,567	509,017
固定資産合計	2,083,875	2,079,319
資産合計	17,554,441	16,681,187

(単位:千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,134,825	680,297
未払金	176,262	64,549
未払費用	79,437	92,700
未払法人税等	390,992	108,826
未払消費税等	69,219	80,492
前受金	215,189	297,802
預り金	10,267	38,413
賞与引当金	154,353	231,453
役員賞与引当金	18,000	18,000
前受収益	134,346	155,469
その他	1,400	984
流動負債合計	2,384,293	1,768,990
固定負債		
退職給付引当金	174,293	179,839
製品保証引当金	104	93
その他	35,598	35,598
固定負債合計	209,996	215,532
負債合計	2,594,290	1,984,522
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	13,416,144	13,152,658
自己株式	△493,719	△493,719
株主資本合計	14,960,151	14,696,665
純資産合計	14,960,151	14,696,665
負債純資産合計	17,554,441	16,681,187

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位: 千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	1,679,835	2,014,165
売上原価	915,480	1,064,906
売上総利益	764,355	949,258
販売費及び一般管理費	684,336	703,134
営業利益	80,018	246,123
営業外収益		
受取利息	172	1,071
受取配当金	0	0
為替差益	895	294
受取賃貸料	1,585	1,100
受取補償金	1,250	333
その他	266	997
営業外収益合計	4,169	3,797
営業外費用		
その他	-	35
営業外費用合計	-	35
経常利益	84,188	249,885
税引前四半期純利益	84,188	249,885
法人税、住民税及び事業税	44,791	98,795
法人税等調整額	△19,617	△19,921
法人税等合計	25,173	78,874
四半期純利益	59,014	171,011

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取れると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

なお、一部の商品及び製品の国内販売においては「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取り扱いを適用し、出荷時から当該商品及び製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取り扱いに従っており、当第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計基準を適用しております。

この結果、当第1四半期累計期間の損益および利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、これによる四半期財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)及び当第1四半期累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

当社は、医療機器及びこれら装置で使用する消耗品の製造、販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成していません。